

ニュースレターVol.05

ご挨拶

男女共同参画推進室長
國井秀子

グローバル化時代の今日、日本の多くの産業はグローバルに成長することを願っていますが、そのためには日本社会がグローバルに通用する社会であることが望まれます。多くの社会的課題の中でも日本は特に女性差別撤廃が遅れています。イノベーションの推進にあたっては、女性や外国人など人材の多様性の確保は喫緊の課題です。政府は、昨年8月に「女性活躍推進法」を制定し、301人以上の規模のすべての事業所に対して女性活躍推進に向けての目標を策定することを求めています。世界経済フォーラムの男女格差のデータによれば、依然として日本の男女共同参画は遅れており、日本は先進国で最下位です（2016年、144か国中111位）。

さて、大学は知の拠点として社会進歩に向けても大きな役割を果たすことを期待されます。男女共同参画に対しても、人材の育成や社会学的研究のみならず、大学の組織自体が模範となることも期待されます。しかし、大学は企業以上に男女共同参画の取組が遅れています。特に、工学系大学は男女共同参画に対して長年消極的であったと言わざるを得ません。ハーバード大学のローレンス・サマーズ元学長は、社会的な環境を十分説明しないで女性は理系が不得意と取られるメッセージを発したため学長を辞任せざるを得なくなりました。日本の大学でも、女性は理工系が不得意で理工系では女性が少ないのは当然という考えがまだ多く残っているのが実情です。

こうしたなか、芝浦工業大学は、2013年に文部科学省の女性研究者研究支援補助事業に応募、採択されました。これによって、全学的に男女共同参画の取組を加速でき、その結果、女性教員比率を3年余りで倍近く、女性教員がゼロの学科数もほぼ半減しました。この補助事業が終了した現在は、文部科学省の補助に依存せず、自立的に改革を継続、発展させる段階になっています。

今後は、文部科学省の補助事業では対象外であった女子学生支援と女子学生比率向上に向けても取組をさらに強化していく必要があります。これまで女性が少なかった企業でも最近女性技術者を増強したいと考えているところが増加しており、「社会に学び、社会に貢献する技術者の育成」を目指す当大学にとって女子学生向けの取組は重要な責務であると認識しています。

女子学生が安心して学習・研究できる環境を実現するには、女性教員の存在が重要です。女子学生が悩みを気軽に相談でき、また、ロールモデルとなる女性が多い環境を構築できれば、工学系大学に進学する女性も増加することと思います。多くの国立大学ではすでに女性教員がゼロの学科がなくなっており、本学でも早急に解決する必要があります。

私たちは、工学系私立大学のトップを目指して、引き続き男女共同参画を強力に推進していきたいと思っています。皆さまの暖かいご支援を宜しくお願いします。

「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」の成果を次につなぐ

男女共同参画推進室
教授 内藤 和美

取組の背景

Diversity and inclusion

芝浦工業大学は、Diversity and inclusionを重視する世界的な動向を背景に、年来、積極的に男女共同参画推進に取り組んできました。

Diversity and inclusionは、人権の面からも経済社会の発展の面からも、人の多様性(diversity)、すなわち、人種、性別、年齢、身体的特徴、宗教、価値観等の違いを尊重(respect)し、排斥せずに受け入れ(accept)よという考え方です。社会も組織も多様な人たちから構成されています。個々の“違い”に関係なく全員が参加でき、個性・能力を発揮できる(inclusion)社会・組織にこそ革新(innovation)と発展があり得ます。新しいものは、異なるものが接するところに生まれるからです。

芝浦工業大学の男女共同参画の取組

取組が本格化した2013年

芝浦工業大学は、大学のさらなる発展のため、そして社会課題の解決への大学の責任を果たすために、グローバル化、男女共同参画等の面でポジティブアクション（暫定的な積極的改善措置）を採り、Diversity and inclusionの推進に取り組んできたのです。

芝浦工業大学の男女共同参画の取組は、とくに2013年から本格化しました。この年、男女共同参画推進を、創立100周年に向けた教学改革の行動計画“Centennial SIT Action”の推進項目の1つに位置付け、理事長/学長直轄の男女共同参画推進室を開設し、そして文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」（2013～15年度）を開始しました。

翌2014年には、文部科学省スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援（タイプBグローバル化牽引型）」に採択され、この取組の中でも、多様性の指標の1つとして女性教員比率を設定しました。同じ2014年、芝浦工業大学は、お茶の水女子大学、物質材料研究機構と3機関で「女性研究者研究活動支援事業（連携型）」（2014～16年度）をも開始しました。

女性研究者研究活動支援事業（一般型）の採択・実施

「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」では、女性教員比率を事業全体の成果を表す指標とし、事業開始時8.8%であったこの比率を事業終了時に12%にするという目標を掲げ、主に次のような活動に取り組みました。

芝浦工業大学「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」（2013～15年度）の主な取組

課題	主な取組
理工系女性教員の増員	女性の応募促進、女性の積極的な採用
	認識共有のためのシンポジウムやワークショップの開催
	ロールモデルやキャリアパスの提示
女性研究者の活躍に向けた環境整備	女性のネットワークづくり
	科研費獲得相談など研究活動支援
	女子学生教職員休憩室等施設設備整備
ライフイベント中の女性研究者の支援	研究支援員の配置
	育児介護休業中の教員に係る規程等の整備



事業を通じて、女性教員比率が増加して事業終了時2016年3月末の女性教員比率は12.1%と目標を達しました。なお課題はありながら、組織職を中心に男女共同参画推進の課題認識やポジティブアクションへの理解が浸透し、ライフイベント中の女性教員の研究環境が改善され、芝浦工業大学の女性のネットワークが形成されました。本事業の実施と相俟って、「学生による女性卒業生ロールモデルインタビュー」、男女共同参画関係科目新設の検討など学生に対する活動も始まりました。

条件の厳しい工学系分野でのこうした取組が評価され、本学は、2015年度の「東京都女性活躍推進大賞」（教育分野）を受賞しました。

女性研究者研究活動支援事業（一般型）の成果を次につなぐ

3月末で「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」が終了し、今年度2016年度からは同事業の成果を血肉とし、大学自身の力と新たな枠組みで男女共同参画推進に取り組んでいくこととなりました。継続中のCentennial SIT Action、「スーパーグローバル大学創成支援（タイプBグローバル化牽引型）」、「女性研究者研究活動支援事業（連携型）」の下、引き続き女性教員の増員をはじめとする男女共同参画の推進に強力に取り組んでいます。

Centennial SIT Action、「スーパーグローバル大学創成支援」における男女共同参画推進の成果指標と目標

男女共同参画についてはDiversity & Inclusionの進展度合を表すために、Centennial SIT Actionと「スーパーグローバル大学創成支援」には、次のような成果指標とその目標値が設定されています。

男女共同参画推進の成果指標と目標

Centennial SIT Action（～2027年度）

最終達成目標	
1. 教員、学生とも女性が30%程度を占め、性別構成の多様性が増して大学の活力と創造が促進される。 1. 多様な立場の教職員のワークライフバランスが確保され、生産性が向上する	
成果指標	2027年度末目標
女性教員比率	25%
女子学生比率	30%
女子受験生比率	30%
Shiba-joプラチナネットワーク会員数	300名以上
ライフイベント支援	100%
学内環境整備（女性休憩室等）	No.1

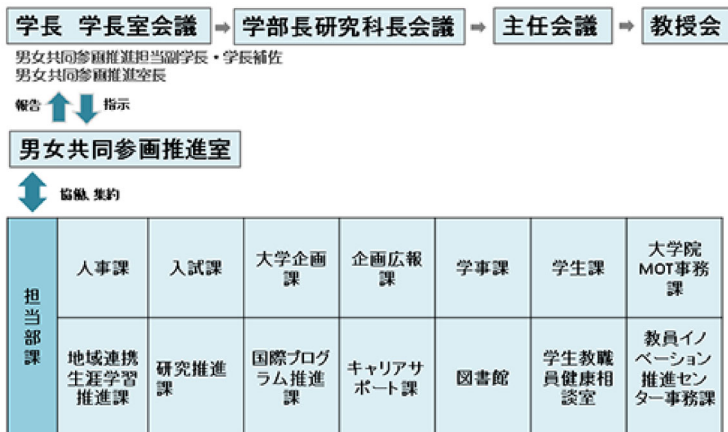
スーパーグローバル大学創成支援（タイプBグローバル化牽引型）

成果指標	2023年度末目標
女性教員比率	26.7%(80/300人)
女性職員比率	50% (90/180人)

新体制での取組継続

男女共同参画が総合的に進展し、その結果、2023年度末、2027年度末に各成果指標の目標が達成されるよう、「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」実施のために男女共同参画推進室に集中させていた取組を、学長発教学の意思決定機構を通じた活動、および各部門・各課の業務として行う活動へと水平展開し、文字通り全学体制に編成し直して、今年度は10の課題を設定してこれに取り組んでいます。

男女共同参画推進への取組体制（2016年度）



	取組課題
1	女性教員の増員と維持
2	女性職員の管理職登用促進
3	男女共同参画推進の意識づくり
4	男女共同参画推進の情報発信
5	男女共同参画に関する学生生活の支援
6	働きやすい・学びやすい環境の整備
7	女子受験者入学者の増加
8	女子の大学院進学促進
9	女性のネットワーキング
10	女性研究者研究活動支援事業（連携型）の活動

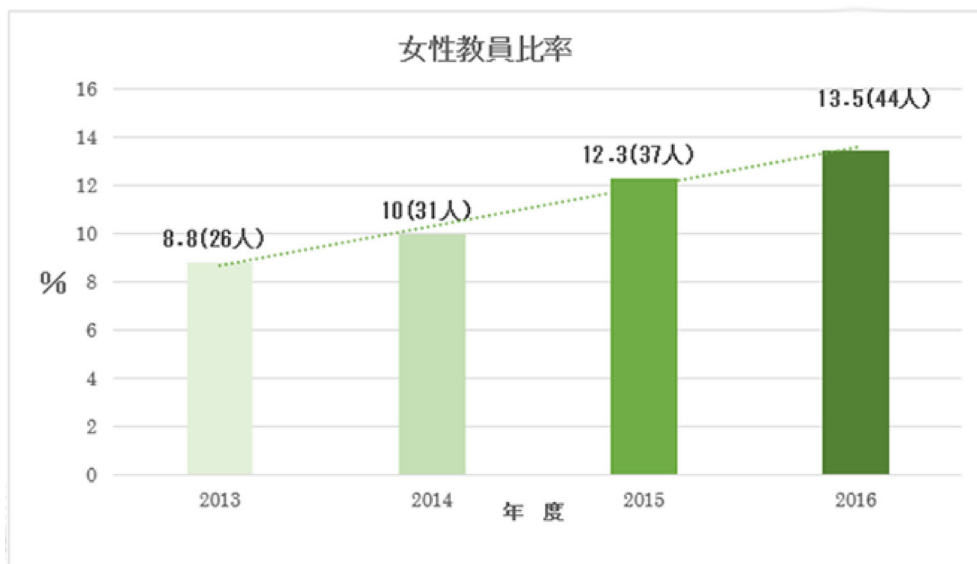
解決・対応を急がねばならない問題―着実前に進むために

新体制で相互に関連し合う10の課題に取り組み、目標達成をめざしていく上で、芝浦工業大学が今とくに解決・対応を急がねばならない問題がいくつかあります。女子学生の学習環境を改善整備していくためにも現在17学科中5学科ある女性教員のいない学科を解消していくこと、ニーズの量やコスト・パフォーマンスの点で制約が大きい中でも育児/介護との両立支援を充実させていくこと、組織職以外の教職員のポジティブアクションの理解を深め拡げていくことなどです。ますます多様性に富んだ可能性に溢れる大学として発展し、グローバル化した高度成熟社会のニーズに応え、貢献していけるよう、こうしたことを1つ1つ乗り越えて、着実に男女共同参画を進めて参ります。

数字で見る芝浦工業大学の男女共同参画

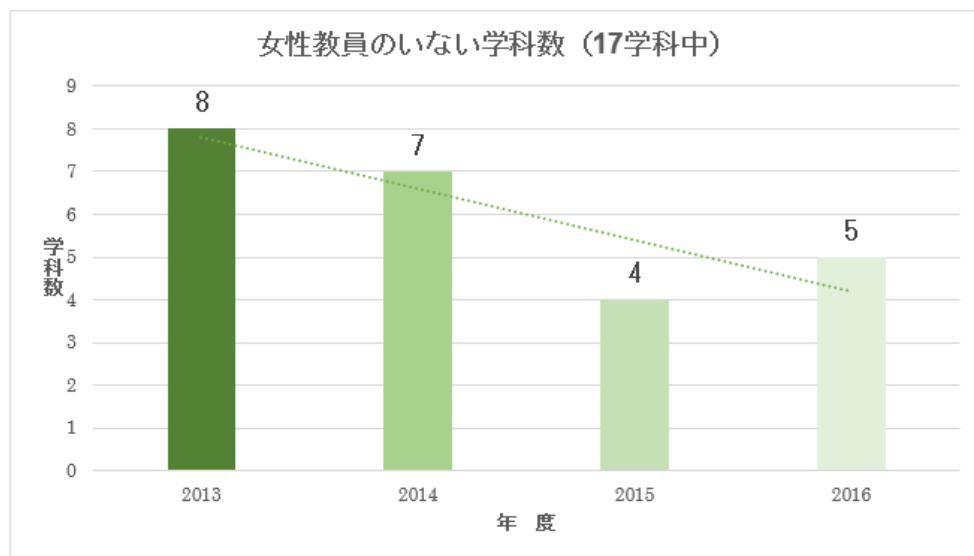
女性教員の比率

常勤教員の女性比率は、3年間で1.5倍に増加しました。2015年度時点で、その割合は、同年度の工学系研究者に占める女性比率の全国値10.0%を上回っています。



女性教員のいない学科

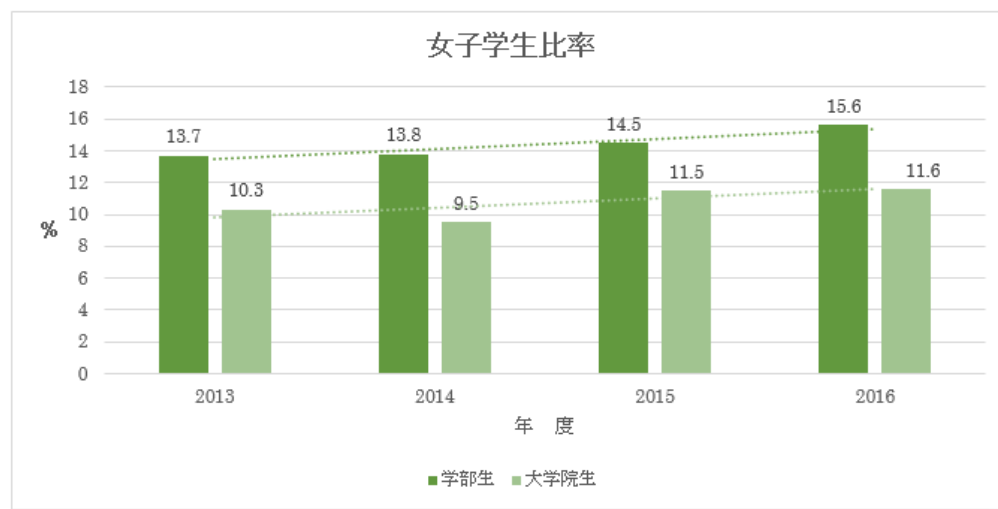
2013年度には17学科のほぼ半分8学科に女性教員がいませんでしたが、2015年度には4学科（23.5%）へと半減しました。女子学生の学習環境を整備する上でも、まずは女性教員のいない学科を解消していく必要があります。



女子学生の比率

学部、大学院とも女子学生の比率は年々上昇しています。2015年度の学部の比率14.5%は同年度の全国の大学の工学分野学部の女子学生比率13.6%を上回る水準となっています。大学院は全国値11.6%とちょうど同水準です。全体ではこのようですが、女子学生比率は学科によって、電気工学科3.4%、機械工学科4.9%、機械制御システム学科5.3%から建築学科24.2%、デザイン工学科25.9%、生命科学科の33.7%まで大きな幅があります。

また、学部卒業生の大学院への進学率は、ここ3年間、男子約29%、女子約23%で、男女間に6ポイントの差があります。



理工系をめざす女子中高生のためのVISION BOOK

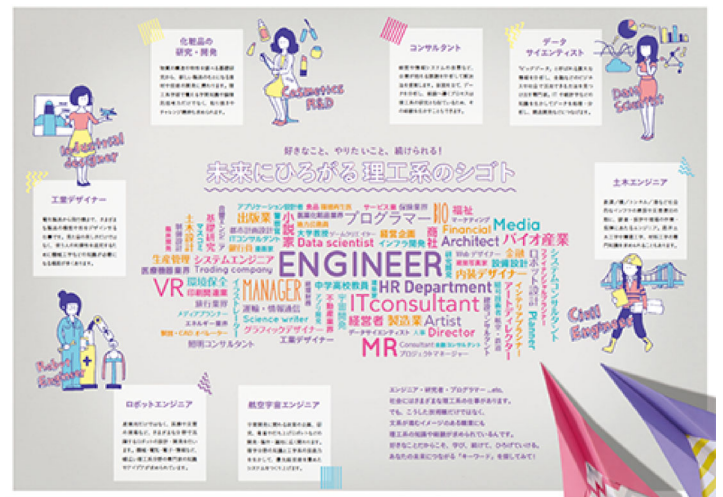
女子中高生にとって理工系分野、とくに工学系分野は、たとえば医療看護、心理、教育・保育、文学系等女子の進学者が多い分野に比べて、分野の魅力・可能性や職業が具体的にイメージされにくかったと言わざるを得ません。芝浦工業大学では、2016年に、女子中高生に理工学系分野とその職業を見えやすくし、魅力と可能性を伝え、理工系ひいては本学への進学を促進することを目的に『理工系をめざす女子中高生のためのVISION BOOK』を刊行しました。

手に取りやすいサイズの総頁数15頁の冊子は、「未来にひろがる理工系のシゴト好きなこと、やりたいこと、続けられる」、「INTERVIEW」、「データから見た理工系女子のホンネ 学生生活・仕事」、「Q&A」の4内容から成っています。



未来にひろがる理工系のシゴト p4-5

理工学部での学習は、幅広い分野のさまざまな職業へとつながることを伝えます。



INTERVIEW Shiba-jo先輩インタビュー p6-11

女性エンジニア

少人数で活躍する女性エンジニアのインタビュー記事。社会人編と学生編の両方があります。

社会人編

元々エンジニアから興味を持った、学生時代に学んだ文法が、就職先での活躍に繋がりました。

学生編

元々エンジニアから興味を持った、学生時代に学んだ文法が、就職先での活躍に繋がりました。

女性エンジニア

少人数で活躍する女性エンジニアのインタビュー記事。社会人編と学生編の両方があります。

社会人編

元々エンジニアから興味を持った、学生時代に学んだ文法が、就職先での活躍に繋がりました。

学生編

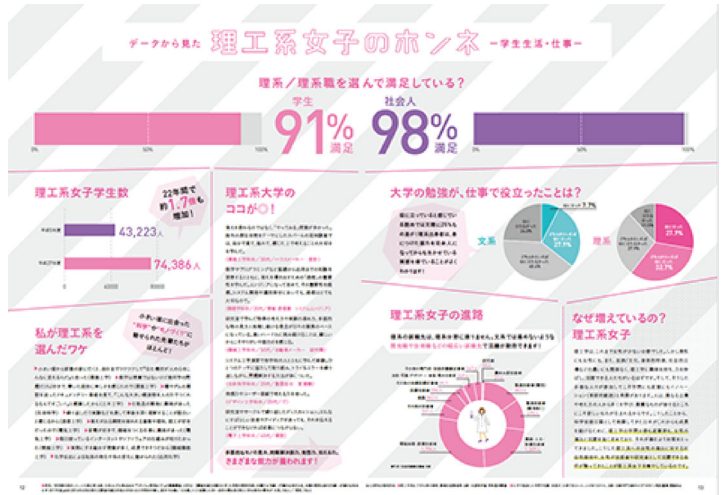
元々エンジニアから興味を持った、学生時代に学んだ文法が、就職先での活躍に繋がりました。

社会人編4名の女性卒業生、学生編2名の女子在学生のインタビュー記事とそれぞれの“HISTORY”によってロールモデルを示します。インタビューでは、リアルな仕事観・生活観・自分観がいっきにと語られています。

▲ 社会人編(左) / 学生編(右)

データから見た理工系女子のホンネ 学生生活・仕事 p12-13

さまざまな調査データによって、理工系女子学生・女性卒業生が増えていること、理工系を選んだ理由、よかったこと、卒業後の進路、仕事上役に立っている勉強等を示します。



Q&A p14-15

Q&A

男子学生ばかりで大丈夫でしょうか？女子学生の居心地は？

理工系の勉強、面白いところはどこですか？

理工系分野の中から自分に合う専攻の分野は、どう見つけば良い？

男子学生ばかりで大丈夫でしょうか？女子学生の居心地は？

理工系の勉強、面白いところはどこですか？

理工系分野の中から自分に合う専攻の分野は、どう見つけば良い？

男子学生ばかりで大丈夫でしょうか？女子学生の居心地は？

理工系の勉強、面白いところはどこですか？

理工系分野の中から自分に合う専攻の分野は、どう見つけば良い？

男子学生ばかりで大丈夫でしょうか？女子学生の居心地は？

理工系の勉強、面白いところはどこですか？

理工系分野の中から自分に合う専攻の分野は、どう見つけば良い？

「理工系の勉強、面白いところはどこですか？」、「男子学生ばかりで大丈夫でしょうか？女子学生の居心地は？」等12のあるある質問にお答えします。

理工系分野への女子の進出と活躍をすすめていくために

芝浦工業大学では今年、8月の「2016年度オープンキャンパス」を皮切りに、さまざまな機会にこのVISION BOOKを女子中高生、女子中高生に関わる人々に届けてきました。女子の理工系への進学促進は、もちろん、芝浦工業大学のみで実現できることはありません。各機関あるいは共同での情報発信、イベント等理工系分野に興味・関心をもつきっかけとなる機会の提供、高校での科目履修のありかた・進路指導、大人達の期待・応援、社会的気運等々が総合されてようやく叶うことです。芝浦工業大学はその一端を担う当事者としての責任を果たしていきます。

4月～11月の主な活動

4月

芝浦工業大学教育研究 23日 公開講座「多様な女性のキャリアー理工系分野の魅力」の開催

芝浦キャンパスで、専門職大学院経営マネジメント研究科国井秀子教授による公開講座「多様な女性のキャリアー理工系分野の魅力」を開催しました。27名の参加者が講師の課題提起とグループワークに熱心に取り組みました。



6月

30日 スラナリー工科大学との交流

海外協定校スラナリー工科大学（タイ）のPrasart Suebka学長ほか教職員45名が中間管理職向け研修の一環として来学されました。教職協働を主テーマに、本学からの説明と意見交換を行いました。来訪された教職員のほぼ半数が女性で、責任ある立場への女性の登用促進につながる研修となりました。



7月

2日 芝浦工業大学柏中学高等学校『理系女子講演会（交流会）』の開催

フリートークから成る『理系女子講演会（交流会）』が開催されました。パネルディスカッションでは、同校卒業の芝浦工業大学の女子学生4名が大学での研究内容や学生生活について話し、「理系を選んだ理由は何ですか」等参加者の質問に答えました。続く先輩を囲んでのフリートークはくつろいだ雰囲気話がはずみました。

30日 公開講座「ソフトウェアデザインー炊飯器も自動車もこれがないと動かない」の開催

芝浦キャンパスで、野田夏子准教授による公開講座「ソフトウェア・デザインー炊飯器も自動車もこれがないと動かない」を開催しました。30名の参加者が、生活と社会を支えているのみかかわらず目に見えず、日常認識されにくいソフトウェアの世界に接しました。

芝浦工業大学 地域連携・生涯学習センター 公開講座

ソフトウェア・デザイン

～炊飯器も自動車もこれがないと動かない！～

ソフトウェアは目に見えないものではないので、それが一体何なのか、どのように作られるのか、よくわからないという方も多いのではないのでしょうか。本講座では、白物に隠れて社会を変えているソフトウェアについて身身に感じ、またそのありかに関心を抱いてもらうように、ソフトウェア開発の実態や、その有りかに関与する開発者などについて紹介いたします。

美味しいソフトウェアのレシピを
探求しよう！

講師	野田 夏子(芝浦工業大学デザイン工学部 准教授)
日時	7月30日(水) (全1回) 13:30~15:00
会場	芝浦工業大学 芝浦校舎5F (1階:全館・中央エレベーター前)2階:20号館(学生センター)3階:30号館(学生センター)
受講料	無料 ※本講座につきましては、男女共同参画推進室と連携とっております。
申込方法	こちらから▶
締切	7月12日(水)

男女共同参画推進室
Gender Equality Promotion Office

お申し込み先 芝浦工業大学 地域連携・生涯学習センター 〒135-8588 東京都江東区豊島3-7-5
03-5655-7190(電話) shiogaki@shimizu-u.ac.jp (Eメール) [HP](#)

[戻る] [公開講座] [詳細]

8月

7日、20日・21日 オープンキャンパス2016「女子ブース」の活動

オープンキャンパスの学生団体ブースの1つとして、「女子サークル」が女子の参加者とその保護者に一休みして頂く場、女子在學生に気軽に何でも相談してもらおう場「女子ブース」を開設しました。7日（大宮キャンパス）、21・22日（豊洲・芝浦キャンパス）合わせて約150名の女子中高生と保護者が来訪され、大学での学習、生活等について、女子在學生とゆっくり話をしていられました。



23日、31日、9月5日 女子学生企業見学会の実施

女性研究者研究活動支援事業（連携型）「『工学系女性研究者比率向上の好循環モデル』の構築を目指して」（2014～16年度）の一環として、お茶の水女子大学、芝浦工業大学、物質・材料研究機構連係大学院の女子学部生・大学院生対象の企業見学会を実施しました。参加学生からは、「圧倒的な技術力に刺激を受けた」、「女性エンジニアの方々のお話は、自分のキャリアを考える上で参考になり、ロールモデルとなるものだった」などの感想が寄せられました。

8月23日（火）	日本IBM株式会社	参加者8名
8月31日（水）	ソニー株式会社	参加者25名
9月5日（月）	株式会社プリテス技術センター	参加者11名



9月

10日 LF/Shiba-joプラチナネットワーク/男女共同参画研究支援員共催「～10年後を見通して今を考える～ 10年後わたしは」の開催

豊洲キャンパスで、大学院生の活動であるLearning Facilitatorと男女共同参画研究支援員、そしてShiba-joプラチナネットワークの3者が「～10年後を見通して今を考える～ 10年後わたしは」を共催しました。鳥越千尋さん（工学部通信工学科卒業、東京電力パワーグリッド(株)、小川武士さん（大学院理工学研究科修士課程修了、(株)伊藤喜三郎建築研究所、今井耕平さん（大学院理工学研究科博士後期課程修了、昭和大学薬学部博士研究員）の3名に、卒業修了後これまでの軌跡、現在の仕事と生活、今後への考え等をお話頂いた後、3人を囲んでラウンドテーブルトークを行いました。在學生が、目の前のことだけでなく将来を具体的に考えるきっかけとなりました。



21日 Shiba-joプラチナネットワーク交流懇談会の開催

メンバーを増やし、活動を広げて行く基盤となるShiba-joプラチナネットワーク内部の人間関係づくりの機会として、第1部交流会「Shiba-joプラチナネットワーク 2016年度活動中間報告と意見交換」（豊洲キャンパス）、第2部懇談会（豊洲キャンパス近くのお店）を開催しました。7名が参加しました。

28日 お茶の水女子大学「第25回子育てサロン」への参加

お茶の水女子大学で2010年度から開催されてきた子育て中の教職員・大学院生や子育てに関心のある教職員・学生の集い「子育てサロン」が、女性研究者研究活動支援事業（連携型）の連携機関、芝浦工業大学、物質・材料研究機構にも開放されました。本学から教員2名が参加しました。

参加費無料

英語ファシリテーション講習 参加者募集

国際シンポジウム・学会・研究会で使える
英語での司会進行を学びます。
ふるってご参加下さい。

講師 **逸見シャンタル氏**
上智大学言語教育研究センター准教授

● 経歴 ●
上智大学言語教育研究センター准教授、エッセイ・大学20003年に教育学
博士(Ed)のTEFLを取得。アジア・パシフィック・コミュニケーション・センター
のディレクターとして勤務。2012年より上智大学で英語コミュニケーション
のディレクターとして勤務。講義も担当。研究分野はCLILの検証と実践。
● 著書 ●
『上智大学のCLILプログラム』(加田・渡部・和孝編)CLIL内研英語統合型
学園(上智大学出版 pp. 95-100)、『Dual Identities Perceived by
Bilinguals』(Hancer & Williams (ed.), Multiple Perspectives on
the Self in SLA, Multilingual Matters, pp. 75-91), Harris &
Hemminki『CLILのベスト・プラクティス』(編者)等

2016年10月5日(水) 15:00~17:00
お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科棟508室

【対象】お茶の水女子大学、芝浦工業大学、物質・材料研究機構連係大学の学部生、大学院生、
研究員、教職員(非常勤を含む) 定員10名

【申込】<https://cndg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Leadership/facilitation20161005/>
2016年9月28日(水) 15:00締切

【詳細】<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/renkei/facilitation20161005/>

● 主催 ● 平成26~28年度文部科学省科学研究費助成事業 女性研究者研究活動支援事業(連携型)
● 協賛 ● お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究科 E-mail: frsp-info@cc.ocha.ac.jp

COSMOSからのお知らせ
Career Opportunity Support Model from Ochanomizu Scientists

お茶の水女子大学
Ochanomizu University

第25回子育てサロン開催します

ランチをとりながら子育ての悩みや楽しさを話合っています。
とても気軽な雰囲気で開催されますので、ぜひお立ち寄りください。
学生・教職員どなたでもご参加できます。お子さん連れも大歓迎です!

日時 **2016年9月28日(水)**
12:10~13:20

場所 **お茶の水女子大学 大学本館113室(第二会議室)**

今回はフリートーク
の回です。
連携機関の芝浦工業大学、
物質・材料研究機構の方も
参加予定です。

男性のご参加もお待ちしております!
昼食は各自持参してください。
途中の入退室は自由です。

平成26~28年度文部科学省科学研究費助成事業「女性研究者研究活動支援事業(連携型)」
【お問い合わせ先】お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究科 COSMOS
E-mail: frsp-info@cc.ocha.ac.jp

10月

5日 英語ファシリテーション講習会への参加

女性研究者研究活動支援事業(連携型)の一環として、お茶の水女子大学で、国際シンポジウム・学会・研究会での英語での進行、ファシリテーションの力を磨く「英語ファシリテーション講習」が開催されました。本学から、教職員3名、学生3名が参加しました。

11月

12日 大宮キャンパス開校50周年・システム理工学部開設25周年記念イベントへのShiba-joプラチナネットワークコーナーの出席

大宮キャンパスに卒業生、元教職員等約500名が集い、「大宮キャンパス開校50周年システム理工学部開設25周年記念イベント」が開催され、基調講演、トークセッション等が行われました。このイベントにShiba-joプラチナネットワークコーナーを出展し、パネル・ポスターの展示、冊子等資料の配布を行い、来訪された女性卒業生を交流席にお迎えして懇談しました。

▶ イベントの報告 

19日 第22回ホームカミング・デーへのShiba-joプラチナネットワークコーナーの出席

豊洲キャンパスで、卒業生の1日里帰りイベント「第22回ホームカミング・デー」が行われました。今回は、西暦末尾6年と2011年の卒業生と、卒業年度を問わず女性の卒業生全員が招待されました。260人余りが集ったこのイベントにShiba-joプラチナネットワークコーナーを出展しました。パネル・ポスターを展示し、冊子等資料を配布し、コーヒーとお菓子を用意して交流席を設けました。来訪された女性卒業生を交流席にお迎えして懇談しました。

▶ イベントの報告 

年間を通じた活動

育児・介護中の教員への支援員の配置

芝浦工業大学では、今年2016年4月より、育児・介護により教育研究のための時間が制約される教員の研究時間を確保し、両立と教育研究活動水準の維持をはかるため、育児介護休業制度の対象となる教員に「教育研究支援員」として大学院生を配置する制度を開始しました。教員の支援を主目的としつつ、教育研究支援業務への従事が、大学院生自身の将来のキャリアやワーク・ライフ・バランスに対する認識を深める機会となることをも狙いとしています。併せて今年度は、女性研究者研究活動支援事業(連携型)による、育児介護中の女性教員への「男女共同参画研究支援員」配置も行いました。4月から11月までの間、育児休業中および育児休業開始を控えた3名の教員に

「教育研究支援員」を、妊娠中、産前産後、育児中の3名の女性教員に「男女共同参画研究支援員」を配置しました。



女性ランチ交流会/研究紹介交流会の開催

2016年度に女性教員が在職している学部12学科・1学群、2研究科、その他1計16部門中8部門は女性教員が1名のみです。マイノリティにはネットワークが必要—3キャンパス内に点在し、接する機会の少ない総計40名あまりの女性教員間の交流をはかり、つながり、協力・互助関係、ひいては共同研究等創出の契機となることを期して、キャンパスごとに女性ランチ交流会/研究紹介交流会を開催しています。女性職員や女子学生の参加も歓迎されます。2016年度は、これまでに次のように会合を重ねてきました。

女性ランチ交流会/研究紹介交流会

開催日	キャンパス	参加者	内容
4月20日	豊洲	6名	新任女性教員歓迎会
5月19日	大宮	13名	2015年度FSDS助成「グローバルな女性エンジニアを育てるPBL教育の検討と試行」の成果報告と意見交換
5月31日	芝浦	6名	情報・意見交換
7月13日	豊洲	8名	情報・意見交換
7月14日	大宮 豊洲 (TV) 芝浦 (TV)	10名	環境システム学科真保晶子教授の研究紹介 「イギリスの家具・住居・デザイン・物質文化史研究」
10月3日	大宮 豊洲 (TV)	6名	機械制御システム学科田中みなみ教授の研究紹介「漆碗の用と美—デザイン工学の視点から」



メンター&アドバイsprogramの実施

女性研究者が、研究・教育経験、芝浦工業大学での職務経験において先輩の研究者と対話し、助言を受け、ロール・モデルを得ることを通じて、女性が少ない環境下で研究者・大学人としてより高い成長を遂げていくことを支援するために、メンター&アドバイsprogramを実施しています。2016年度11月末現在、3組のメンター/メンティが活動しています。

➤ 休憩室